

## 移行計画の概要

ポートランド交通局（PBOT）は、2020年11月20日まで、公開レビュー目的でADA タイトルII公道通行権移行計画案（Draft ADA Title II Public Right of Way Transition Plan）を提供しています。

PBOT は、すべての利用者がアクセスすることのできる交通システムの構築に取り組んでいます。私たちは、交通インフラに投資する際、有色系コミュニティ、低所得層のコミュニティ、障害を持つ人々によるアクセスをよりいっそう、そして効果的にサポートする方法で行います。

計画案をレビューしコメントする人々は、計画があなたのニーズを確実に満たすようにするには不可欠です。そういった意見が提起されることで、2021年初頭にPBOT が市議会に提出する計画の最終版にポートランドの住民のニーズが反映されるようになります。当社のウェブサイトアクセスして計画に目を通し、調査にご参加ください。

## [移行計画ウェブサイト](#)

### [移行計画調査](#)

アメリカ障害者法（ADA）タイトルII（Americans with Disabilities Act (ADA) Title II）は、50人以上の職員を擁する州政府または地方政府に対し、移行計画を作成することを要求しています。

移行計画には、これらの要素を含める必要があります。

- すべてのPBOT 活動、路上、歩道上の障壁を特定する
- 予算とスケジュールを特定する
- 苦情のプロセスを提供する
- 計画を実施する責任者を特定する
- 局が行うすべての活動に対する完全なアクセスを提供する

PBOT は、路上または歩道上について、緑石の傾斜、歩行者信号、歩道、駐車場およびロープウェイ（Aerial Tram）とストリートカー（Streetcar）の停車駅の管理を行います。バスとライトレールの停車駅はTriMet が所有し

ていますが、これらが道路または歩道にある場合は市が所有しています。PBOTはTriMetと連携して、これらの停車駅が適合していることを確認します。

PBOTプロジェクトは、すべてのユーザーが歩道、縁石の傾斜、歩行者用信号、駐車場、停車駅にアクセスできるようにするための主たる方法です。時として、開発者や公益事業会社も障壁を取り除き、街のアクセス向上に取り組みます。同様に、**Safe Routes to School**（安全な通学路）や**Shared Streets**（道路のシェア）などのPBOTプログラムも障壁の除去に取り組みます。

**Ramps by Request** プログラムでは、ポートランドの居住者は、縁石に傾斜を追加することで、自身または地域に住む障害を持つ家族がアクセスするのを後押しするような空間を提案することができます。

安全でない歩道や通りの場所を報告するには、**503-823-SAFE (7233)** にお電話ください。正式の、そして個別の苦情処理プロセスも用意されています。

これは、少なくとも5年ごとに更新される**20年計画**です。そして、進捗状況に関する年次報告が行われます。個別の契約に関連して、**2032年**までの、縁石の傾斜建設に予算が割り当てられています。PBOTプロジェクトの予算、PBOTメンテナンス作業員による作業、公益事業者による作業および開発者による建設には、歩道、縁石の傾斜、歩行者用信号機、駐車場、交通機関の停車駅を適合させることが往々にして含まれます。

PBOTは、移行計画についてもっと学ぶことができるよう、いくつかのオンラインオープンハウスを提供しています。PBOTは**150**を超える数の組織に連絡を取り、計画のレビューとコメントを依頼しています。

パブリックコメントの期間が**2020年11月20日**に終了した後、PBOTは計画案を更新し、**2021年初頭**の採択を念頭にいれ、市議会に提出します。

ご質問やご意見は、[ADATransitionPlan@portlandoregon.gov](mailto:ADATransitionPlan@portlandoregon.gov) にEメールでご連絡ください